

霊的な発達（成長）（2）

ペトロ（ヨハネの子シモン）

1. 召命（ヨハ 1:40-42；ルカ 5, 4-10）

(40)ヨハネの言葉を聞いて、イエスに従った二人のうちの一人は、シモン・ペトロの兄弟アンデレであった。(41)彼は、まず自分の兄弟シモンに会って、「わたしたちはメシア——『油を注がれた者』という意味——に出会った」と言った。(42)そして、シモンをイエスのところに連れて行った。イエスは彼を見つめて、「あなたはヨハネの子シモンであるが、ケファ——『岩』という意味——と呼ぶことにする」と言われた。

(4)話し終わったとき、シモンに、「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をなさい」と言われた。(5)シモンは、「先生、わたしたちは、夜通し苦勞しましたが、何もとれませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう」と答えた。(6)そして、漁師たちがそのとおりにすると、おびただしい魚がかかり、網が破れそうになった。(7)そこで、もう一そうの舟にいる仲間に合図して、来て手を貸してくれるように頼んだ。彼らは来て、二そうの舟を魚でいっぱいにしたので、舟は沈みそうになった。(8)これを見たシモン・ペトロは、イエスの足もとにひれ伏して、「主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者なのです」と言った。(9)とれた魚にシモンも一緒にいた者も皆驚いたからである。(10)シモンの仲間、ゼベダイの子のヤコブもヨハネも同様だった。すると、イエスはシモンに言われた。「恐れることはない。今から後、あなたは人間をとる漁師になる。」

2. 派遣（マタ 10, 5-7）

5)イエスはこの十二人を派遣するにあたり、次のように命じられた。「異邦人の道に行ってはならない。また、サマリア人の町に入ってはならない。(6)むしろ、イスラエルの家の失われた羊のところへ行きなさい。(7)行って、『天の国は近づいた』と宣べ伝えなさい。

3. 信仰の危機（マタ 14:25-31）

(25)夜が明けるころ、イエスは湖の上を歩いて弟子たちのところに行かれた。(26)弟子たちは、イエスが湖上を歩いておられるのを見て、「幽霊だ」と言っておびえ、恐怖のあまり叫び声をあげた。(27)イエスはすぐ彼らに話しかけられた。「安心しなさい。わたしだ。恐れることはない。」(28)すると、ペトロが答えた。「主よ、あなたでしたら、わたしに命令して、水の上を歩いてそちらに行かせてください。」(29)イエスが「来なさい」と言われたので、ペトロは舟から降りて水の上を歩き、イエスの方へ進んだ。(30)しかし、強い風に気がついて怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫んだ。(31)イエスはすぐに手を伸ばして捕まえ、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」と言われた。

4. 選択（ヨハ 6, 60；66-69）

(60)ところで、弟子たちの多くの者はこれを聞いて言った。「実にひどい話だ。だれが、こんな話を聞いていられようか。」

66)このために、弟子たちの多くが離れ去り、もはやイエスと共に歩まなくなった。(67)そこで、イエスは十二人に、「あなたがたも離れて行きたいか」と言われた。(68)シモン・ペトロが答えた。「主よ、わたしたちはだれのところへ行きましょうか。あなたは永遠の命の言葉を持っておられます。(69)あなたこそ神の聖者であると、わたしたちは信じ、また知っています。」

5. タボル山での体験（マタ 17, 1-7）

(1)六日の後、イエスは、ペトロ、それにヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。(2)イエスの姿が彼らの目の前で変わり、顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった。(3)見ると、モーセとエリヤが現れ、イエスと語り合っていた。(4)ペトロが口をはきんでイエスに言った。「主よ、わたしたちがここにいるのは、すばらしいことです。お望みでしたら、わたしがここに仮小屋を三つ建てましよう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」(5)ペトロがこう話しているうちに、光り輝く雲が彼らを覆った。すると、「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。これに聞け」という声が雲の中から聞こえた。

6. 成功と失敗（マタ 16, 13-26）

- (13)イエスは、フィリポ・カイサリア地方に行ったとき、弟子たちに、「人々は、人の子のことを何者だと言っているか」とお尋ねになった。(14)弟子たちは言った。『洗礼者ヨハネだ』と言う人も、『エリヤだ』と言う人もいます。ほかに、『エレミヤだ』とか、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」(15)イエスが言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」(16)シモン・ペトロが、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えた。(17)すると、イエスはお答えになった。「シモン・バルヨナ、あなたは幸いだ。あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ。(18)わたしも言うておく。あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府の力もこれに対抗できない。(19)わたしはあなたに天の国の鍵を授ける。あなたが地上でつなぐことは、天上でもつなされる。あなたが地上で解くことは、天上でも解かれる。」(20)それから、イエスは、御自分がメシアであることをだれにも話さないように、と弟子たちに命じられた。
- (21)このときから、イエスは、御自分が必ずエルサレムに行つて、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受けて殺され、三日目に復活することになっている、と弟子たちに打ち明け始められた。(22)すると、ペトロはイエスをわきへお連れして、いさめ始めた。「主よ、とんでもないことです。そんなことがあってはなりません。」(23)イエスは振り向いてペトロに言われた。「サタン、引き下がれ。あなたはわたしの邪魔をする者。神のことを思わず、人間のことを思っている。」
- 24)それから、弟子たちに言われた。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負つて、わたしに従いなさい。(25)自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのために命を失う者は、それを得る。(26)人は、たとえ全世界を手に入れても、自分の命を失ったら、何の得があろうか。自分の命を買い戻すのに、どんな代価を支払えようか。」

7. ペトロの愛の告白と離反の予告（ルカ 22, 31-34）

- (31)「シモン、シモン、サタンはあなたがたを、小麦のようにふるいにかけることを神に願つて聞き入れられた。(32)しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈つた。だから、あなたは立ち直つたら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」(33)するとシモンは、「主よ、御一緒になら、牢に入つても死んでもよいと覚悟しております」と言つた。(34)イエスは言われた。「ペトロ、言うておくが、あなたは今日、鶏が鳴くまでに、三度わたしを知らないと言うだろう。」

「ペトロは言つた。「主よ、なぜ今ついでに行けないのですか。あなたのためなら命を捨てます。」ヨハ 13:37

「するとペトロが、「たとえ、みんながつまずいても、わたしはつまずきません」と言つた。」マコ 14:29

8. ゲツセマネの祈り（マタ 26, 36-43）

- (36)それから、イエスは弟子たちと一緒にゲツセマネという所に来て、「わたしが向こうへ行つて祈っている間、ここに座っていなさい」と言われた。(37)ペトロおよびゼベダイの子二人を伴われたが、そのとき、悲しみもだえ始められた。(38)そして、彼らに言われた。「わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、わたしと共に目を覚ましていなさい。」(39)少し進んで行つて、うつ伏せになり、祈つて言われた。「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに。」(40)それから、弟子たちのところへ戻つて御覧になると、彼らは眠っていたので、ペトロに言われた。「あなたがたはこのように、わずか一時もわたしと共に目を覚ましていられなかったのか。【新約・54頁】(41)誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心は燃えても、肉体は弱い。」(42)更に、二度目に向こうへ行つて祈られた。「父よ、わたしが飲まないかぎりこの杯が過ぎ去らないのでしたら、あなたの御心が行われますように。」(43)再び戻つて御覧になると、弟子たちは眠っていた。ひどく眠かつたのである。

9. ペトロ、イエスを知らないと言う（マタ 26:69-75）

- (69)ペトロは外にいて中庭に座っていた。そこへ一人の女中が近寄つて来て、「あなたもガリラヤのイエスと一緒にいた」と言つた。(70)ペトロは皆の前でそれを打ち消して、「何のことを言っているのか、わたしには分からない」と言つた。(71)ペトロが門の方に行くと、ほかの女中が彼に目を留め、居合わせた人々に、「この人はナザレのイエスと一緒にいました」と言つた。(72)そこで、ペトロは再び、「そんな人は知らない」と誓つて打ち消した。(73)しばらくして、そこにいた人々が近寄つて来てペトロに言つた。「確かに、お前もあの連中の仲間だ。言葉遣いでそれが分かる。」(74)そのとき、ペトロは呪いの言葉さえ口にしながら、「そんな人は知らない」と誓い始めた。するとすぐ、鶏が鳴いた。(75)ペトロは、「鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言うだろう」と言われたイエスの言葉を思い出した。そして外に出て、激しく泣いた

10. 新たな出会いと召命 (ヨハ 21:1-19)

(15)食事が終わると、イエスはシモン・ペトロに、「ヨハネの子シモン、この人たち以上にわたしを愛(agape)しているか」と言われた。ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛(philia)していることは、あなたをご存じです」と言うと、イエスは、「わたしの小羊を飼いなさい」と言われた。(16)二度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛(agape)しているか。」ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛(philia)していることは、あなたをご存じです」と言うと、イエスは、「わたしの羊の世話をしなさい」と言われた。(17)三度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛(philia)しているか。」ペトロは、イエスが三度目も、「わたしを愛(philia)しているか」と言われたので、悲しくなった。そして言った。「主よ、あなたは何もかもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」イエスは言われた。「わたしの羊を飼いなさい。(18)はっきり言うておく。あなたは、若いときは、自分で帯を締めて、行きたいところへ行っていた。しかし、年をとると、両手を伸ばして、他の人に帯を締められ、行きたくないところへ連れて行かれる。」(19)ペトロがどのような死に方で、神の栄光を現すようになるかを示そうとして、イエスはこう言われたのである。このように話してから、ペトロに、「わたしに従いなさい」と言われた。

11. 宣教 (使 2, 14 ; 23-24)

(14)すると、ペトロは十一人と共に立って、声を張り上げ、話し始めた。
(23)このイエスを神は、お定めになった計画により、あらかじめご存じのうえで、あなたがたに引き渡されたのですが、あなたがたは律法を知らない者たちの手を借りて、十字架につけて殺してしまったのです。(24)しかし、神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。イエスが死に支配されたままでおられるなどということは、ありえなかったからです。

12. 迫害 (使 5, 29-32 ; 40-42)

(29)ペトロとほかの使徒たちは答えた。「人間に従うよりも、神に従わなくてはなりません。(30)わたしたちの先祖の神は、あなたがたが木につけて殺したイエスを復活させられました。(31)神はイスラエルを悔い改めさせ、その罪を赦すために、この方を導き手とし、救い主として、御自分の右に上げられました。(32)わたしたちはこの事実の証人であり、また、神が御自分に従う人々にお与えになった聖霊も、このことを証ししておられます+。」
(40)使徒たちを呼び入れて鞭で打ち、イエスの名によって話してはならないと命じたうえ、釈放した。
(41)それで使徒たちは、イエスの名のために辱めを受けるほどの者にされたことを喜び、最高法院から出て行き、(42)毎日、神殿の境内や家々で絶えず教え、メシア・イエスについて福音を告げ知らせていた。